

ガバナー月信 Governor's Monthly Communication

VOL.
4

2023.10.1

Rotary International District 2690 [2023-24]

2023-24年度
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)
2023-24年度地区ガバナー
石倉 貞昭

Contents

ガバナーごあいさつ「記念事業について」	2
地域の経済発展月間によせて	3
島根県立美術館ペーパーバック作りのご案内	
米山月間に因んで	4
第46回インターアクト地区大会ご報告	5
諮問委員会・ガバナー補佐会・地区年間行事予定	6
地区だより	7
会員数報告	8

Rotary
第2690地区



世界に希望を生み出そう



葛飾北斎「月みる虎図」島根県立美術館蔵

国際ロータリー第2690地区 地区大会記念事業の選定について

地区ガバナー

石倉 貞昭 Ishikura Sadaaki



私の所属する松江しんじ湖ロータリークラブでは、15年前からミュージカル「あいと地球と競売人」の公演を支援して来ました。このミュージカルのテーマである環境の社会的意義は勿論のこと、実はこのミュージカルに最初から携わって来た、和田会員の熱意に負うところも大であります。

和田会員は某有名劇団で演出家として経験を積まれた経歴も有り、一少女が思いを託した「地球の秘密」という絵本漫画から、今日のプロにも負けないステージを創り上げた手腕には敬服の念を禁じ得ません。

仄聞するところによれば、再来年の大阪万博への参加オファーが来ているとか。そうなればまさに世界へのメッセージがここ島根松江の地から発信されることになります。

演劇は一人では出来ません。大勢の出演者、スタッフ、ボランティアの協力が必要です。それによって観客に感動を与え演ずる者も観客も一体と化した感動の世界が出現します。

私たちロータリーの活動もかくありたいものです。

国際ロータリークラブ第2690地区 地区大会記念行事
ミュージカル「あいと地球と競売人」の上演にあたって

国際ロータリー第2690地区 地区大会記念事業委員会

和田 史朗（松江しんじ湖RC）

今私の手許に一冊の本がある。本の題名は「地球の秘密」。作者の名は坪田愛華。資料に依ればこの本は英語・アラビア語のほかフランス語・ハングル語など世界12ヶ国語に翻訳され、世界合計90万部強という空前の部数を記録し、30年を経た今でも版を重ね、世界中の人達に読み継がれているという。詳しくは是非手に取ってお読み頂きたいのだが、最終章の感想（この本を作って）にこの本にこめられた作者の思いの総てが結実していると思われるので御紹介したい。

この本を作って、私はアフリカや東南アジアの人のことを考えました。東南アジアなどでは、私より年下くらいの子でも、働いています。勉強もできなくてかわいそうです。そういうことがなくなるには、戦争をなくしたりすることが必要だと思います。私は学校へ行って勉強ができるし、帰る家があって幸せです。私はもっと勉強して、富める国や貧しい国の差をなくしたいです。私は医者になって、いろいろな人の命を助けたいと思います。これは環境についてなんだけれど、私一人くらいという考えはやめようと思います。それを世界中の人がすれば一発で地球はだめにな

ると思います。みんな協力しあって、美しい地球ができればいいです。

引用が長くなった。この作品の完成数時間後、少女は突然脳内出血で倒れ、その2日後12年の短い生涯を閉じた。この絵本はわずか小学校の6年生の少女が、自らの命と引き換えるかのように誕生させた“奇跡の本”といっても過言ではない。

今世界では、地球に暮らす生きとし生けるものの幸福のために“SDGs”（持続可能な開発目標）が設定されている。これらに掲げられた目標に私達人類が心をつ取り組まなければ、次なる世代の幸せな未来はないということなのである。30年後の未来と窮状を彼女は予見していたのではとさえ思えてくる。

“ミュージカル”あいと地球と競売人は彼女の死から2年後に完成、1994年3月出雲市での初演以後毎年20年間、県内外で上演され人々に感動を与えてきた。だが20周年公演を最後に公的支援が見直されることとなり、継続は不可能という状態が5年間続くこととなる。しかしその後この作品の社会的価値、文化貢献度、教育的意義を支持する多方面の人達からの圧倒的な声を受け、自主企画実行委員会が立ち上り現在に至っている。

ここで冒頭の“感想”をもう一度読み返して頂きたい。簡素にして平明な言葉で綴られているのだが、底流に流れる“人間愛”は私達ロータリアンの目差すべき道標のような気がするの私だけだろうか。

30周年を経た今、時を経て光を失うどころか、増々その輝きを増し、その存在意義が認められ、人々に感動を与え続ける作品とするべく私達は走り続けたいと思っている。

今回公演では出演者120名、川本町のオーケストラメンバー50名、スタッフを含めると約200名の人達が参加してくれた。彼らのパワーが結集され、炸裂し万雷の拍手の中、感動に打ち震える姿を見たいというのが私の願いである。

【和田史朗 略歴】

1970年 演出家蜷川幸雄氏らと「櫻社」結成
演出助手を務める
「櫻社」解散後、劇作家 竹内統一郎とのコンビで劇団斜光社結成
1980年 松江市へUターン
1995年 “あいと地球と競売人”
松江公演より演出スタッフとして参加
現在に至る

地域の経済発展月間によせて ～最近の街づくり～

中村 寿男 Nakamura Hisao

(松江しんじ湖RC・協松江天神町商店街 理事長)



全国の商店街の活気が少しずつ無くなり始めてから、もう数十年でしょうか？

原因としては大型店の進出、商店街の各個店の高齢化と後継者不足、少子高齢化、人口減少、若者のSNSに対する対応の遅れ等、マイナス要因は枚挙にいとまがありません。

しかし、最近私たちの周辺で少しずつ大きな変化が現れてきました。

その一例として、私が理事長をしております協松江天神町商店街周辺の動きを報告させていただきます。

コロナ禍の市長選で松江の市長が変わりました。新市長はそれまで松江を内外から見てこられ、差別化をできるものを見出しておられます。そして私たちの商店街には少しずつ廃れていく「松江文化」を受け継ぐ商店が多いことから、「松江の職人の街」と位置付け、洋々の策を講じ始めていらっしゃるようです。

また、同時期に松江商工会議所も新しく若い会頭に替わりました。そして、彼が育った頃の活気ある商店街があまりに疲弊していることを憂い、なんとか商店街を復活できないか、と地道に松江市民にインタビューをしてこられました。

さて、コロナが5類になり、その街づくりが動き出しました。新市長と新商工会議所会頭は協力して、街の活性化を“観光客の誘致”と“地元住民の生活インフラ”にしぼり、動き始めています。

観光客の誘致では「職人の街」として、松江文化の核となる「食」と「職」の技術を持った店を私たちの街の周辺に集めています。あくまでも住民のインフラであるための「職人の街」を作り、観光客にはその中に溶け込んで文化を感じてもらおう、そのために新たに進出する店には、2階にゲストハウスを兼ねるような建物を推奨しています。キー

ワードとしては「観光客に真の松江庶民文化を感じてもらおう」でしょう。そして今、その改造・改築を（以下にも紹介する）若手実行委員会が中心になって順次進めています。

一方、市民のインタビューには、人口が多い50代から60代の方に思い出が多く残り懐かしがられた、当時の商店街のイベント「土曜夜市」があり、これの「復活」をスタートさせました。会頭はあえて、昔の土曜夜市を知っている50代から60代の方からはアドバイスを受けるだけで、土曜夜市の実行委員会は若いメンバーで構成しました。初めての今年度は月1回（6月～10月・15時～21時）で開催していますが、この様子にはびっくりしました。初回から想像以上のたくさんの人出で、初日は18時頃には出店店舗の商品が完売する始末です。さらに予想外だったのは、お客様の層が人口の多い50代から60代の方ではなく、この「土曜夜市」を知らない世代が家族連れで楽しみに出てきてくれた事でした。そして、PRの媒体は私の世代の常識であるチラシなどはほとんど作らず、SNSで発信し集客をしています。若い人たちのなせる業です。

今、この2つが同時進行をして、新しい松江の「職人の街」商店街の改造と活性化が進んでいます。若手実行部隊を中心に新しい商店や後継者育成、商店街周辺に住む子どもたちに、商店街がいかに楽しく生活に優しいところであることの印象を与える活動などなど。

これを「ロータリークラブ」に置き換えてみると、「インターアクト」等は正に的を得たものでしょう。学生たちのボランティア活動を支援・指導し、その中から「ロータリークラブ」はとても素晴らしい活動をしていると感じた若者が、一人でも私たちの仲間に入っただき、その新しいメンバーに、クラブの継続と発展を任せていただいく。これがこれからの発展・改革には必要なものと感じました。

島根県立美術館ペーパーバック作りのご案内

地区大会 本会議10月22日(日) 10時～17時
くにびきメッセ 小ホール（特産品・お土産）にて「島根県立美術館北斎コレクションオリジナルペーパーバック作り」を体験していただけます。皆様方のご参加をお待ちしております！

(完成品見本)





米山月間に因んで

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事

菊池 捷男 Kikuchi Toshio

(岡山西RC)



ロータリー米山記念奨学事業とは

ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、日本と世界との平和の架け橋になる人材を育てています。

なぜ、外国人留学生を支援するのか？

よく、外国人留学生ではなく、経済的に貧しい日本人を対象にできないのかという質問を受けますが、ロータリー米山記念奨学事業は、1952年東京ロータリークラブが設立した、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業「米山基金」に始まります。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、「平和日本を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与する」という思いがあり、そのため、一貫して外国人留学生の支援を目的としているのです。

また、経済的に困っている留学生ではなく、出身国と日本の架け橋となる優秀な留学生の支援をおこなっているのです。

なお、中国人奨学生が多いことを問題にする意見があるようですが、これは日本の高等教育機関で学ぶ外国人留学生の46.6%が中国人であることが影響しています。ただ、第2690地区では奨学生の選考にあたり、国籍のバランスが多様になるよう配慮しています。

寄付について

ロータリー米山記念奨学事業は、主としてロータリー会員からの毎年の寄付で運営されています。

寄付の種類は、安定財源として、各ロータリークラブが決定した金額を会員数分、毎年全クラブが寄付する普通寄付金と個人、法人、クラブからの任意寄付である特別寄付金の2種類があります。地区の奨学生数は、ほぼ寄付額で決定しますので、継続的なご支援をお願いいたします。

奨学期間後も交流を

ロータリー米山記念奨学金の特長は、ロータリー会員と奨学生との交流を重視している点です。奨学生は、月に1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリーの奉仕の精神を学びます。奨学期間終了後は、米山奨学生の同窓会組織である米山学友会に入会することができます。第2690地区の米山学友会は、奨学期間終了後、就職で首都圏や近畿圏へ転居する、あるいは母国へ帰国するなど、なかなか、交流を続けることが難しい状況にあります。できましたら、世話クラブ側でも定期的に週報を送ったり、周年行事に招待するなど、交流を続けていただくと大変ありがたく思います。

今後とも、ロータリー米山記念奨学会へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

第46回インターアクト地区大会ご報告

松本 宏 思 Matsumoto Koshi

(鳥取RC)



2023-24年度国際ロータリー第2690地区インターアクト地区大会を7月29日(土)、30日(日)の両日、とりぎん文化会館(鳥取市)を主会場として開催いたしました。

ここ数年新型コロナウイルス感染拡大によりオンライン等で開催されてきましたこの大会が、本年鳥取の地にて以前と変わらず若者が集い盛大に開催できましたこと、ホストクラブ会長として関係者の皆様に心より感謝とお礼を申し上げます。

今回インターアクトに鳥取の地でしか学べないもの、体験できないことそして高校時代の夏の思い出に強く記憶に残るプログラムにしようとする実行委員会は鳥取敬愛高校と協力して準備をしてきました。大会のテーマ「砂丘とSDGs」～未来につながる環境問題～、参加者はホスト校である鳥取敬愛高校をはじめとした17校より約80人のインターアクトと教員30名、ロータリアン32人の参加者で行われました。

第1日目は鳥取砂丘を舞台とし乾燥地研究に組織的に取り組むわが国唯一の研究機関である鳥取大学乾燥地研究センターでの学習ならびに世界初、「砂」を素材にした彫刻作品を展示する美術館である鳥取砂丘砂の美術館の見学を行いました。訪問前に鳥取大学中島廣光学長の講演、辻本壽乾燥地研究センター長の基調講演をいただきました。講演ならびに施設学習により乾燥地における砂漠化の影響は国境を越えて直接日本にもやってくることに、またこの乾燥地を有する途上国のSDGs達成への貢献に国際社会の一員として日本の研究者が立ち向かっていることが強く理解できました。当日の最高気温38度、そして乾燥地研究所内の大型環境制御施設であるアリドドーム内は46度と経験することがない気温を体験しましたが、涼しい環境を確保するなど熱中症対策を万全に行い誰一人体調を崩すことなく

エクスカージョンを終えることが出来ました。

砂丘内の施設での班別会議、夕食の後は砂丘のナイトウォークを行いました。天気に恵まれたことから砂丘から日本海に沈む巨大な夕日と茜色に染まる海、そして日没後には水平線にイカ釣り船の幻想的な漁火、また砂丘上空の夜空に輝く星々という鳥取の自慢の風景を生徒たちに体感してもらうことが出来たことは私たちの想いが叶うときでありました。

第2日目は「アフリカ大陸での井戸掘り」と題してタシマボーリング社長の田島大介氏より記念講演をいただきました。ガーナ国の水が乏しく環境が不衛生である乾燥地に単身乗り込み、現地にある資材のみで現地の人々と日本の江戸時代の工法にて井戸掘りに挑み、その村に大地からの恵みを与えるという挑戦は生徒たちに大きな感動を与えてくれました。講演中井戸から水が出た話題になったとき会場からは拍手が沸き起こりました。

大会最後は出雲北陵、石見智翠館、倉吉北、岡山学芸館、倉敷高校の代表が体験発表を行いました。各高校ともコロナ禍で活動が制限された中でインターアクトとしてどのように活動したのか、そしてこの活動を通して自分がいかに成長したのかと立派に発表されました。

ホストクラブ会長として気配り等が十分に行き届いておりませんが、生徒たちがインターアクトとしての大きな仕事をやり遂げ笑顔で閉会式後に写真撮影をしている姿を見ることで今大会が大成功であったと感じております。

最後になりますが岡山県共生高校インターアクトクラブと新見ロータリークラブの皆さまにお世話になります来年の第47回大会の成功をお祈りして、大会の報告とさせていただきます。ありがとうございました。



2023-24年度 国際ロータリー第2690地区
第1回 諮問委員会 次第

日付：2023年7月30日(日) 11:15~12:30
会場：松江エクセルホテル東急2階 オーク
司会：地区副代表幹事 尾添 憲男

1. 開 会
2. 配布資料の確認
3. 出席者紹介 地区ガバナー 石倉 貞昭
4. 地区ガバナーあいさつ 地区ガバナー 石倉 貞昭
5. 報告事項
 - ①地区バスターガバナー会費について 【資料1】
 - ②地区大会について 【資料2】
 - ③地区ガバナー公式訪問について 【資料3】
 - ④2024-25年度ガバナー補佐について 【資料4】
 - ⑤第2690地区危機管理委員会規定について 【資料5】
 - ⑥クラブ米山記念奨学委員長研修会について 【資料6】
 - ⑦2023-24年度ロータリー青少年交換プログラムについて 【資料7】
 - ⑧2024年ロータリー国際大会について 【資料8】
 - ⑨2023-24年度地区組織図について 【資料9】
 - ⑩2023-24年度地区行事予定について 【資料10】
 - ⑪その他
6. 地区ロータリー財団事務所より
7. 榊原敬地区ガバナーエレクト事務所より
8. 次回開催日の確認2023年10月21日(土) 12:30~13:50
ホテル一畑
9. 閉 会

国際ロータリー第2690地区
第1回 ガバナー補佐会

日時：2023年7月30日(日) 12:00~13:30
会場：松江エクセルホテル東急2階カメリア
司会：2023-24年度地区副代表幹事 金見 邦明

1. 開 会
2. 配布資料の確認
3. 地区ガバナーあいさつ 地区ガバナー 石倉 貞昭
4. 地区ガバナーエレクトあいさつ 地区ガバナーエレクト 榊原 敬
5. 地区ガバナーノミネーあいさつ 地区ガバナーノミネー 坂口 元昭
6. 地区研修リーダーあいさつ 地区研修リーダー 古瀬 俱之
7. 議 題 地区代表幹事 幡 宏明
 - ・地区大会について 【資料1】
 - ・地区ガバナー公式訪問について 【資料2】
 - ・2024-25年度ガバナー補佐について 【資料3】
 - ・第2690地区危機管理委員会規定について 【資料4】
 - ・クラブ米山記念奨学委員長研修会について 【資料5】
 - ・2023-24年度ロータリー青少年交換プログラムについて 【資料6】
 - ・2024年ロータリー国際大会について 【資料7】
 - ・2023-24年度地区組織図について 【資料8】
 - ・2023-24年度地区行事予定表について 【資料9】
 - ・その他
8. 次回開催日の確認
第2回ガバナー補佐会
2023年10月21日(土) 11:00~12:00 場所：ホテル一畑
9. 閉 会

国際ロータリー第2690地区年間行事予定 【2023-24年度】

☆榊原地区ガバナーエレクト主催

年 月	日	行 事	場 所	時 間	
2023	8 (日)	新見ロータリークラブ創立50周年記念式典	新見商工会議所 5 F		
	8 (日)	地区大会記念テニス大会	松江北運動公園運動施設内北庭球場		
	20 (金)	地区大会記念ゴルフ大会	島根ゴルフ倶楽部		
	10	21 (土)	第2回ガバナー補佐会	ホテル一畑	11:00~12:00
			第2回諮問委員会		12:30~13:50
			地区大会各種委員会		14:00~14:30
			地区指導者育成セミナー		14:40~16:20
			ガバナー補佐・会長・幹事会		16:30~17:00
			R1理事ご夫妻歓迎晩餐会		18:00~20:00
	22 (日)	地区大会本会議	くにびきメッセ		
	4 (土)	第2回地区青少年交換委員会	岡山学芸館高等学校		
	4 (土)	青少年交換派遣学生選考会			
	4 (土)~5 (日)	島根県インターアクト指導者講習会			
	11 (土)	鳥取県インターアクト指導者講習会	倉吉北高等学校 松柏会館	10:00~15:20	
	16 (木)	ロータリーの友委員会合同会議・地区代表委員会議			
	11	19 (日)~22 (水)	ロータリー財団地域セミナー	神戸ポートピアホテル・ポートピアホール	
			第2回ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)		
			ガバナーノミネー研修セミナー (GNTS)		
			メジャードナー午餐会		
			第2回ガバナー会議		
R1会長・TRF管理委員長歓迎晩餐会					
26 (日)	岡山県インターアクト指導者講習会	おかやま西川原プラザ	10:00~		
12	2 (土)	第3回地区青少年交換委員会	松江市民活動センター (スティックビル)		
		第1回派遣学生オリエンテーション			
		次期米山委員長セミナー			
	3 (日)	全国青少年交換委員長・危機管理委員長合同会議	東京都内		
	10 (日)	☆次期クラブR財団委員長研修会・地区補助金管理セミナー	岡山コンベンションセンター		
		地区補助金小委員会			
☆第2回次期ガバナー補佐会 第3回諮問委員会		ANAクラウンプラザホテル岡山			
	☆榊原敬地区ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会・懇親会				

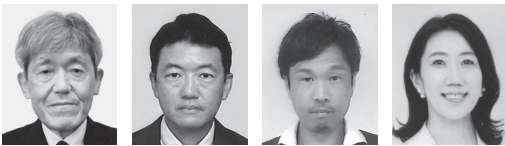
新会員紹介



藤井 和啓 倉吉RC 福永 哲也 倉吉東RC 小藤 善之 境港RC 佐藤 浩延 境港RC 茨木 直人 松江RC 上田 太 松江東RC 三宅 大介 松江しんじ湖RC 高村 行雄 隠岐西郷RC 井上美紀子 浜田RC



三浦 幸 益田西RC 藤田 辰也 児島RC 石川 智昭 倉敷RC 富田 秀男 倉敷RC 中屋由貴子 倉敷中央RC 平田 貴子 倉敷東RC 小林 純一 倉敷南RC 大段 勝己 倉敷南RC 福田 知明 岡山RC 福井裕一郎 岡山RC



赤木 定 岡山東RC 澤田 昌浩 岡山東RC 楠 慎平 岡山丸の内RC 山本満理子 岡山西RC

ロータリー財団への寄付

- メジャードナー
レベル4 藤岡 千秋(岡山東RC)
レベル1 小川 清弘(岡山南RC)
- ベネファクター (恒久基金)
松本 宏思(鳥取RC)
- メモリアル・コントリビューター
稲田 泰博(米子RC) 母 稲田アヤのために
宮崎 玉美(岡山後楽園RC) 夫 宮崎雅史のために
- ボール・ハリス・フェロー (ポリオプラスへの寄付)
西本 晃④(岡山東RC) 小川 健①(岡山南RC)
榊原 敬⑦(岡山南RC) 大和 豊子④(岡山南RC)
鴨東 正雄④(岡山丸の内RC) 小川 俊彦④(岡山丸の内RC)
- ボール・ハリス・フェロー (年次基金への寄付)
坂本 悟①(鳥取RC) 岩崎 陽一②⑧(鳥取西RC)
深田 雄一②(米子RC) 荒川 雄司⑦(米子東RC)
小椋 理佳②(米子東RC) 神馬真一郎③(児島東RC)
西山 芳男④(児島東RC) 土居 大介①(津山RC)
江見 正暢③(津山RC) 長谷川隆嗣④(津山RC)
勝山 敏③(津山RC) 岡 悠紀好②(津山RC)
柴田 和正②(津山RC) 只友世毅子②(津山RC)
山本 俊彦⑥(津山RC) 西岡 貞則⑥(岡山北西RC)
木原 章雄②(岡山南RC) 西川 智晴⑥(岡山南RC)
小川 清弘⑩(岡山南RC)

クラブポリオプラス

倉敷RC	570.21ドル (ミリオンダラーミール)
岡山東RC	631.91ドル
岡山南RC	975.06ドル
(岡山南RCC事業「うらじゃ城内ナイト2023」募金活動)	
岡山丸の内RC	248.23ドル

クラブ年次基金

平田RC	185.00ドル
児島東RC	20.00ドル (新会員寄付)
津山RC	680.85ドル (ミリオンダラーミール)

法人・大口寄付 ベネファクター (恒久基金)

サンポーエンジニアリング(株) (岡山東RC)

クラブからのお知らせ

【松江ロータリークラブより】
会長が「佐藤尚士」会員に交代いたしました。

米山奨学会への寄付

- 米山功労者
小林 健治⑧(倉吉RC) 岩崎 陽一②⑧(鳥取西RC)
中本 高夫⑩(米子RC) 藤原 剛志①(倉敷瀬戸内RC)
林 康宏①(倉敷瀬戸内RC) 土屋 大輔①(倉敷瀬戸内RC)
中島 康博⑬(岡山南RC) 西川 智晴④(岡山南RC)

クラブ普通寄付

倉吉RC	95,000円	浜田RC	140,000円
米子RC	170,000円	倉敷瀬戸内RC	170,000円
松江東RC	122,500円	真庭RC	150,000円
平田RC	92,500円	岡山中央RC	120,000円
出雲RC	127,500円	岡山備南RC	50,000円
出雲南RC	420,000円		

クラブ特別寄付

出雲南RC	42,000円 (米山ランチ)
出雲南RC	38,251円 (米山BOX)
笠岡東RC	21,600円 (米山ランチ)

訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



宮崎雅史 (岡山後楽園RC)

ご逝去日/2023年8月3日 享年/70
入会日/1998年8月27日

【VOL.4 表紙】葛飾北斎 ^{つぎ} ^{とら} ^{ます} 《月みる虎図》

天保十五年(1844)、紙本着色、島根県立美術館蔵(永田コレクション)

右下に「八十五老卅筆」とサインがあるように、「画狂老人卅」と名のついていた北斎が、85歳の時に描いた肉筆画です。満月を虎が穏やかな表情で見上げていますが、その描法は独特です。かすれた濃い墨線で虎全体の輪郭や縞模様を描く一方、その周囲に引いた薄墨の滲みで毛の柔らかい質感や立体感を表しています。なお画面右上の幾筋かの太く粗い線は、紙を敷いた際の「置の目」の跡。霞がかかった夜空に面白いアクセントを生んでいます。



2022-23 ガバナー月信vol.13の訂正とお詫び

P17 6月地区だより新会員紹介にて、隠岐西郷RC角脇 浩会員の顔写真掲載に誤りがございました。訂正掲載してお詫び申し上げます。

2022-23年度 月信事務局



会員数報告 (2023年 8月)

クラブ名	例会数	会 員 数				
		7月1日	8月末日	内女性会員	増 減	
第1グループ	智 頭	4	5	5	0	0
	倉 吉	3	38	41	2	3
	倉吉中央	4	17	17	2	0
	倉吉東	4	46	47	5	1
	鳥 取	3	58	60	3	2
	鳥取中央	2	27	35	2	8
	鳥取北	4	45	47	6	2
	鳥取西	3	55	55	3	0
	小計(8)	—	291	307	23	16
第2グループ	境 港	4	43	45	1	2
	米 子	2	68	68	4	0
	米子中央	3	41	42	2	1
	米子東	3	102	103	14	1
	米子南	3	68	70	5	2
	小計(5)	—	322	328	26	6
第3グループ	松 江	3	60	63	1	3
	衛星クラブ	2	9	9	5	0
	松江東	3	49	51	4	2
	松江南	2	65	65	5	0
	松江しんじ湖	3	45	46	10	1
	隠岐西郷	4	26	27	2	1
	小計(5)	—	254	261	27	7
第4グループ	平 田	3	37	38	1	1
	出 雲	3	51	52	1	1
	出雲中央	3	47	46	3	▲1
	出雲南	3	84	84	6	0
	大 社	3	48	50	5	2
	小計(5)	—	267	270	16	3
第5グループ	江 津	4	40	40	3	0
	浜 田	4	56	58	5	2
	益 田	3	19	20	2	1
	益田西	4	31	32	2	1
	大 田	4	24	24	3	0
	小計(5)	—	170	174	15	4
第6グループ	井 原	4	37	37	1	0
	笠 岡	4	49	49	3	0
	笠岡東	3	39	41	1	2
	新 見	3	24	24	3	0
	総 社	4	14	14	2	0
	総社吉備路	4	29	30	1	1
	高 梁	4	34	36	1	2
	玉 島	4	27	28	5	1
小計(8)	—	253	259	17	6	

クラブ名	例会数	会 員 数				
		7月1日	8月末日	内女性会員	増 減	
第7グループ	児 島	2	15	16	0	1
	児島東	3	10	11	0	1
	倉 敷	5	74	76	1	2
	倉敷中央	3	16	17	6	1
	倉敷東	3	29	30	4	1
	倉敷南	3	57	59	3	2
	倉敷水島	3	17	17	0	0
	倉敷瀬戸内	3	34	34	1	0
	小計(8)	—	252	260	15	8
第8グループ	真 庭	3	29	30	1	1
	美 作	3	26	26	2	0
	津 山	3	95	96	5	1
	津山中央	3	11	11	3	0
	津山西	4	32	33	4	1
小計(5)	—	193	196	15	3	
第9グループ	備 前	3	41	44	7	3
	岡 山	3	113	118	6	5
	岡山東	4	96	98	1	2
	岡山北西	3	47	50	3	3
	岡山後楽園	4	48	47	1	▲1
	小計(5)	—	345	357	18	12
第10グループ	岡山旭川	4	36	36	1	0
	岡山中央	3	24	24	5	0
	岡山北	4	49	49	4	0
	岡山南	4	152	158	20	6
	玉 野	3	25	26	0	1
	小計(5)	—	286	293	30	7
第11グループ	岡山備南	3	20	20	1	0
	岡山城	4	20	21	1	1
	岡山岡南	3	25	25	2	0
	岡山丸の内	4	50	50	3	0
	岡山西	3	66	71	14	5
	岡山西南	3	48	51	7	3
小計(6)	—	229	238	28	9	

地区クラブ内の状況

クラブ数	65 RC
2023年 7月1日会員数	2,862 名
2023年 8月末日会員数	2,943 名
内 女性会員数	230 名
純 増	81 名

